

あとがき

本書の序章で、私は読者の皆さんになぜこの本を買ったのでしょうか、と尋ねました。ここで皆さんが考えるであろう先に述べた5つの理由を詳しくお示しします。この5つはとても重要なことでしょう。今、この本を読み終えて、あなたはどうか考えたでしょうか？なぜこの本を読まなければならなかったのでしょうか？

1. 著者に“credibility”がある

私は、本書そのものがこのことを証明してくれるだろうと思っています。私は、この著者（私）は熱心な教育者であると断言できます。

2. かつての私の生徒たちが素晴らしい成功を収めている

あなたは第5章と訳者コラムで10人の医師としての成功と、医師としてのコミュニケーション技術の重要性についての彼らの意見を読み終えました。あなたが次のサクセスストーリーになるのかも知れません。

3. 値段に見合っている

あなたは恐らくこの本のために50ドルも支払っていないでしょう。もしあなたがたった1つの戦略、技術、行動変化でも学ぶことができれば、この本は有用であったということです。よりよい英語コミュニケーション技術によって、学術的・専門的な認識だけではなく、よりよい経済的なステータスを築くことになることを知っていただきたいのです。

4. 情報が有用である

医学英会話を勧める人たちは、上手く話せるようになることで、よい結果が得られることを個人的に証明しています。ほとんどのインターンにとって本書に含まれている情報は必要なもののなのです。



5. “Knowledge is power (知識は力)”

この格言はすべてのプロフェッショナルにとって意味があります。2012年を生きる医師として、あなたは英語（新しい国際的な医学コミュニケーション方法）に通じていなければ深刻な影響を受けることでしょう。

Gambatte Kudasai — Dr.Doric Little